京城日日新聞

能率増進と文化生活（下）

法學博士 森本厚吉

能率の増進には生活・衣服・住居・食物等の外部の方法を研究する必要もあるが、余は爰に精神的方面に於て是を述べたい。能率増進は云ふ迄もなく勞働者（精神勞働者をも含む）に必要であつて、日本に於て最も重要なる者は此勞働者でなくてはならない。而して勞働と遊戯の差違は果して何れにあるかを考へる必要がある。米國其他歐州各國に於ては夜會と稱するものがあつて、夜の十二時頃より二時三時に到る迄も旺に舞踏する。併し夜會を誰しも苦しいものとは思はないのである。更に一例を引けば車夫が走つて汗を出すのと、テニスをやつて汗を出すのとは同じ汗であるが、一つはそれを痛と感じ、一つはそれを愉快に覺へるのは何故であるか。元來遊戯と云ひ勞働と云ふも其間に差違のあるものではなく、只目的に於て異るのみである。勞働の目的は動作の外にあるが故に勞働は目的に對する手段なのである。同じ音樂にしても、月謝を目的とする琴の師匠のは勞働であり、音樂それ自身を目的とする月下の女が彈ずるピアノは遊戯である。是を以て見れば、目的と手段との別るゝ處に依つて苦痛ともなり娯樂ともなることは明かになつたであらう。然らば手段の總てを捨てゝ目的そのものに直接せしめたならば其處に苦痛は娯樂となる筈である。勞働が遊戯となつた時、勞働の苦痛は遊戯の娯樂に盡を變ずるのである。而して目的の大小に依つて苦痛を減ずる事も明かである。目的を非常に擴大する時、其勞働は遊戯に進むものであることは、五圓の賞金を與へた草取り人夫に依つて立證されてゐる通りである。笑つて働くと嫌々ながら働くとは能率の上に甚しい差違があることは云ふ迄もないが、日本人は常に後者に屬すべきものであることは遺しむべき一事と云はねばならない。上海は各國人種の最も多く集つた所であるが、日本人は十五人の中十四人迄は嫌め面をしてゐて僅に其中の一人が稍笑顏に近い表情をしてゐると云ふ有樣、アングロサクソン人種の然らしむる所であらう。米國ではスマイルと書いた紙片を配付して常に笑つて居れと敎へてゐる。自動車の運轉手なども此スマイルの紙片を自動車の硝子面に貼付してゐる。それは其紙片を貼つて置くと妙に故障がないと云ふのである。かくてスマイルの紙片は能率の上に大なる影響を來しつゝあるのである。殊に婦人は笑顏が必要であつて、[illegible]餘裕を以て挨拶をし笑顏を以て夫を迎へたならば家庭の趣味を増す事は云ふ迄もない事である。主人に於ても又然り、家庭の快活は笑顏に依つて求めらるゝものである。勞働も然り、勞働は俺の天職なりとの自覺の下に働いたならば、自然と笑顏も出來るのである。かくてこそ世界の民衆は生氣に染められるのである。

勞働の遊戯化は勞働を娯樂化するものであつて、是は實業その他の方面にも必要である。仕事が樂しければ自然能率は増進し、從つて賃金も増す譯である。進化も世の中に生れたる以上は、お互に今少し面白く愉快に生きたいのであつて、今迄の學問は果して實際の改革が出來たであらうか、學問をして學校や、書物の中に包まず、廣く生活の上に適用しなくてはならない。新時代の思想は吾等の生活の上にはないのである。併も日本人程不合理にして不愉快なものはないのである。生活を改造し愉快を得たいではないか。それには細心の注意を總てのものの上に拂ふ事が必要である。彼のホードと云ふ自動車會社の主人は、猫が垣根を上るのを見て、米技師長に命じて猫の重量を計らしめ、更に猫が有する二十本の爪の抵抗力を研究せしめ、高等數學に依る充分なる研究の結果、此理を自動車の上に應用し實用に適する併も安價なる物を作り、一般の需要に供したと云ふのである。是なども一寸の注意から起つた事であつて、米國人をして幸福なる生活をなさしめたのである。

生活の改造は決して困難なものでない。それには常に生活に必要なるを擁ふ事が必要である。そして現時代に適當なる生活を作り能率の増進を計り各人の收入を増し愉快になることが出來るのである（完）

比律賓紀行

小林淺吉

（一）

人口の繁殖と民族の發展とは、互に因果の關係を有して居る二大要件である。而して內に人口が繁殖するに從ひ、民族は勢ひ外に發展せざるを得ない。是に於て發展を企圖する國家の關心するは殖民問題にあり、今や國家政策の中樞は、實に此の殖民問題にありとまで絶叫せらるゝに至つた。即ち多年モンロー主義を持し、全米を以て勢力圏とするに甘んじてゐた米國すら、布哇を併せ比律賓を領有するに至つた事は、國際政局の變に基いたとは云へ、又以てその傾向と見るべきである

顧つて我國を觀れば、人口は年々著しき増加率を示し、國土の稠度は實に世界の第三位を占め、各階級を通じて、就職難生活難の聲を聞く事喧ましく、引いて食料の缺乏と騰貴とを見、食糧問題は職員問題と共に、我が國民の生活に對する偉大なる一脅威となつてゐる。然らば之れに對する救濟策は如何に、工業の發達、農業の改良、耕地の整理等を初め種々の方策も然も自ら限度があり到底永く之れを以て解決し得たりとすべきではなく、此の救濟策として結局現在既に過剩の域にある國民と、今後更に増加すべき國民とは之れを海外に移住せしめねばならぬ。既に我が國民の海外發展は、生存上、其必要を迫られてゐるのである

然らば我が國民は將來如何なる方面に移住し、如何なる地方に發展すべきか。由來日本國民の天性は寒熱何れの地方に對しても發展し得べき素質を有してゐる。西伯利亞、滿洲、樺太の如き氷雪凜冽の地方に於て活動し得ると共に、赤道直下の熱帶地方に於ても發展をするに困難を感じない。斯くて如何なる地方でも、以て我國民を容るゝに足るものあれば、直に之に赴いて活動の歩を進め得るのであるが、我國民と雖も、固より其狀態、其能力、四圍の狀況により自ら幾許かの寒熱に對する適不適を免れぬ、されば滿蒙移民集中論が旺に唱道されたに拘らず、我移住民は未だ三十萬を出でず、北露と樺太とは、當局の獎勵あるに拘らず、移民の渡航は寥々たるものがある、之等地方は元より我國民の生活に適せぬのではないか、國民は自己の利益の最も大なる方面を選んで進む結果、より以上に經濟的價値に富む地方に赴くを利としたからである、斯して我國民は却つて布哇、合衆國及び加奈陀に向つて滔々として移住し、其移民渡航禁止の實施に遇つてからは國民の眼は自ら南方に注がるゝに至つたのである。

政界茶話

白壁

▲政府の對米策といふのは餘程不思議なものだ、新聞が拙劣ならソレで良いが、第一策の高等委員會などは問題になるまいよ、元來高等委員會の事は、ワンダーリツプ氏來遊の際、澁澤子などから話があつたらしいがソレはトテモ問題になるまいとの事で流れたと云ふのぢやないか、米國高等委員會設置に就いて居るといふのは當然な話さ

▲一體、政府は今頃ナンでコンナものを設置しやうといふのかネ、幾らボンヤリでも、マサカ米國で設置に同意さるとは思ふて居なからふぢあないか、尤も、只默つて居るのも變だから、國事不可解事は別として、中間に提議して見るとすれば別問題だがネ

▲第二策の新訴提起といふのは、多分在留同胞に私訴を起させると云ふので、政府で起すのではあるまい、ソンナラ第二策などと云ふべきもので無からうぢやないか

▲第一策は問題にならず、第二策は直接政府の關係する所でないとすれば一體ドンナ策があるのかネ新聞には大きな活字で對米策と出て居るが、アンなものがマサカ對米策ではあるまいよ

▲併し新聞紙は無論政府筋から出たのだらうから何か以て不思議ぢやないか新聞の方では夫れにさえなければよいといふので、アンナものでも對米策などと體裁を持つて書いて居るか知らんが、事によつたら一杯喰はされたのではないかネ

▲政府では對米問題に就て色々苦心もし、努力もしたやうにさへ見えさへすれば假令結果がどうなつても國民は往生するだらふ位の所で對內策から割出した對米策なら、眞ツ平御免蒙りたいものだ、

▲中橋に關する振つた逸話を話さうか何時だつたかネ北海道大學の前身の札幌農學校は西遊學校ぢやといふて敎授連の憤慨を買ふたがツイ先達頃金澤の中學校長が文部省へ中橋を尋ねて時候の挨拶をすると「隨分忙しいが此方は相變らず盛でネ」と小指を出して見せたといふ、

▲流石に中學校長も挨拶に困つて早速此話を貴族院議員にしたとか

日日歌壇（投稿歡迎）

その日のはて　骨々子

大工場のトタンの家根に雨脊のうつるや夜るはしづもり淋し

つれづれ　美子

つれづれに古き文殻見てあればおさなく病みし頃のおもほゆ

まじりなき心の燄に燃えさかり歌詠みありしそのかみにして

一人五首以內楷書明記文藝係宛

創作　熱光の下を（二八）

曉谷

「益々やつつけた。」わざと時計を擲げて行つて、この時計は幾時位には賣れるだらうかと親父さんに言つてね、わたしんとこは貧乏ぢやく〳〵と人が言ふさうぢやが、此の時計なんぞは借した金の代りに取つて來たのぢやと言つたら事もなげな顏をしてプイと奥の方に這入つて了ふたもんぢや」と或日お岡が小氣味よささうに言つた。こんなことを思ひ出すと、時計屋の前はワザと大手を振つて歩いてやりたかつた。今から考へるとあんなに激昂したことが何だか詰らなく思へるが、侮辱されると默つてゐられない私は斯うした下らぬ事にも躍氣となつて腹を立てた。停車場へ着くと二等の切符を買つた。元來、二等車に乗る者に激しい反感を持つてゐた私も、其時は一等車に乗つて見る氣になつた。ボキイ車の二等は、狹つ苦しいもので、何うかすると向ふ側の人と膝が接する位だつた。私達の向ふには商賈らしい夫婦が、婦人公論を見て何か口論のことを話してゐた。

「婦人公論だワ」お前もそれを認めて、嬉しさうに呟いた。お前は嫁いでから婦人公論の信者になつてゐた。一つは高級な雜誌を讀めると云ふことに就いての虛榮もあつたらうとは思ふが。兎に角、私の熱心な勸誘が然らしめた、不調和な現象ではあつた。

斯うでもすれば、我等か藝術家の生活に對して理解も出來、良い感情も有つて呉れるだらうと思つたからだつた。が然し、折角靜物畫のモデルにしやうと思つて買つて來て置いた林檎を隣の小さな子供に與つて終つたりして私の反感を買つたものだ。「お前はちつとも私の仕事の尊いことを感じてゐないネ。この仕事は俺の生命だよ。何物よりも強く俺の生を導いて呉れるものだよ。藝術家の妻が藝に關するものに冷淡なのは餘り讃めた事ぢやない」

その時は斯う皮肉を言つたり叱つたりした。これが弟か妹だつたら頭から叱りつける處なのだつた私はこんな小さな事にも堪えられない寂しさを感じた。殆ど獻身的な協助者であつて欲しい妻が、自分の天職だと信じてゐる仕事に興味を有たないで冷淡なのはいやが上にも堪えられない寂寥であつた。

赤尾の弟が東京へ行くと云ふ手紙を寄越した頃から、私の意氣も段々銷沈しかけて來て、例へどんな苦痛を棄てても再び畫學生時代の純一な生活や、眞摯な心持ちに返りたいと思つては、夫から夫へと想像して見たり空想してみたりすることが多かつた。

「貴郎は、妾よりも繪の方が可愛いンですワ。だから東京へ行きたいのよ。松岡さんだつて東京へ行くと言つてられるんですもの、そりや貴郎も行きたいでせう。けれ共、妾は一體どうなるんですの？妾は松岡さんの奥様みたいに、先のことも考へないで無鐵砲に煩雜な處へ行く氣にはなりませんワ。貴郎だけなら、知つた方もあるでせうから勉強は出來ませうが今のところ妾にはそんな勇氣なんぞなくつてよ」

お前は全然反對の態度で言つた。私の不滿は絶頂に達して行くより外はなかつた。松岡の家內は如何な苦勞をしてでも好いから松岡の勉強に力を添へやうと云ふ彼の妻は、何う考へても勇敢な物語りの中の女であるかの如にしか思へなかつた。そう思ふと、お前の働く泣きも打算的な、常識的な態度は物足らぬ寂しさを感じさせるに無理もなかつた。

「貴郎は妾を置き去りにして東京へ行つて了ふ氣よ。然うだワ。何もそんなに急いで東京へ行く必要はないぢやありませんか」

内外電報

獨逸國防軍削減

獨逸は國防軍を十五萬人に削減せり（巴里來電）

シシリー農民暴動

伊國シシリーに於て農民の暴動發生せり（羅馬來電）

非社會黨大同團結

濠洲に於ける非社會黨大同團結は共産黨員が企てなりといふ運動に極力反抗し國家統一民主義政府を組織する爲帝諾の勇を揮ひ尙依然として確立內閣に止まりに決したりと（濠洲來電）

波休戰條約調印

波露休戰條約は八日兩國代表者會見の上調印を見るに至るべし（リガ來電）

將來の事端を憂ふ

金子日本協會長打電す

日米協會會長金子堅太郎氏は紐育日米協會長ヴアンダーリツプ氏に左の電報を發せり

加州日本人問題はカリフオルニア州に於ける排日運動の成功如何に關し深く憂慮しつゝある此の運動にして極端に至るが如き事ある時は將來の事端測り知るべからざるものあり本會に屬する帝國人並日本在留の有力なる米國人は此の排日運動の結果日本に於て生ずる險惡なる形勢に關し米國政府並米國人に注告すべき必要なる處置を執れり本會の會員たる日本人は此の形勢改善の爲國內に於ける一切の精神的勢力を行使せんと努力中なり吾人は兩國の危機に陥り兩國に於ける兩協會の協力が此の局面の解決に貢獻せんことを切望するとの意味を再言す（東京來電）

光雲錦事件解決

光雲錦事件に關し六日支那政府より遺憾の意を表せる公文我帝國公使館に交附し是にて該事件は解決したり（北京來電）

東鐵法權問題

東清鐵道の司法權問題の爲司法部次長一行四名六日來奉朝直に城內に張氏を訪問し鐵道の爲同日夜行にて哈爾賓へ向へり（奉天來電）

……る爲め字品に上陸することに決したりと尙同師團の軍需品三千足り調備方其筋より陸軍被服本廠敦賀出張所に照會ありしも敦賀地方に於ては調達不可能の爲め他地方より調達すべしと（敦賀來電）

支那代表來朝

新任國務院參議于仲漢は北京政府を町野顧問は山東省巡閱使張作霖氏等を各代表し日支國交に關し日本政府の諒解を求むべく十二日大連解纜の臺南丸にて渡日すべし（奉天來電）

辭令

（十月十日附）

遞信事務官 山本直三郎

遞信局監理課長を命す

遞信局監理課長を命す 佐々木三郎

十六日同

木府慈惠醫院醫官 城戶政太郎

咸鏡北道慈惠醫院長出張不在中代理を命す

內閣書記官長 高橋光威

法制局長官 横田千之助

軍備評議會評議員被仰付（東京來電）

信任狀捧呈

新任駐佛日本大使石井菊次郎氏は五日午後エリゼー宮に於て大統領ミルラン氏に信任狀を捧呈し終つて大統領の招宴ありたり（巴里來電）

軍事參議官會議

軍事參議官會議は七日午前十時より宮中西一の間に於て開會東伏見宮殿下を始め奉り井上東郷伊集院各元帥各軍事參議官出席種々協議事項に就て協議する所あり正午別室に於いて午餐を倶にし散會したり（東京來電）

山公訪客來往

七日午前九時平田子爵は馬車を驅つて五番町の山縣公を訪問し二時間餘に亘り何事か密談し正午前辭去せり又下岡忠治氏は午前九時早稻田に大隈侯を訪問し十一時半に至る迄密談して辭去せるが下岡氏は午後も再び自働車を驅つて麹町方面に向へり多分山縣公を訪問したるものならん（東京來電）

第十四師團凱旋

近くハバロフスクより凱旋すべき第十四師團は敦賀より上陸の豫定なりしが検疫上の設備間に合はざ……

琿春事件・貿易影響

中村殖銀理事談

琿春事件發生に關し北鮮地方と琿春方面との貿易狀況に就き殖産銀行に中村理事語りて曰く

琿春地方貿易は我銀行にては主として清津龍南兩支店に於て取扱ひ居れるが今回の事變に就ては未だ何等詳報なきを以て其影響程度を知る能はざれど數回の馬賊襲擊は相當被害ありたるものゝ如くなれば現在及將來に亘る影響は決して鮮少なりと云ふ能はず從來對琿春貿易は各店相當成績を擧げ併も其決濟に至りては頗る圓滑にして主として吉林奥地よりの木材を筏となし豆滿江を流下するにあり右地は支那人大部分を占め露人亦多少居住し日本人は僅に百數十名に過ぎず故に通貨の如きも吉帖を主として之れに亞ぎ鮮銀券も相當流通し居れるが如くなりと云ふ

在獨殘置荷物

在獨逸本邦大使館の保管に係る邦人……

東拓の事業と朝鮮に對する所感

石塚東拓總裁談

東拓の事業は先づ好調子で居る、昨年も八朱の配當をしたが、來年よりは九朱の配當位の見込である、一體會社で無いから株主も利益を貪りはせないから、當なら先づ好成績の方である、府の三十萬圓の補給期限も過ぎたので今度は其補給を受けないで政府の持株三百萬圓に對しては配當丈けは免除されて居るがそれも株主へ一割以上の配當をすれば利子を政府に納めることになるから來るであらうさうなるとしても、着々として……

獨立した……

甚酌して……

客月鮮鐵業績

九月中朝鮮線に於ける運輸狀況を聞くに當月の旅客に在りては……季節に際し一般に來往者多く旬元山及南大門より釜山行臨時列車運轉し又月を通じ團體の乘車多數に上り旅客人員の如き前年に比し……

間島木材悲況

陪審制度の可否

公訴不受理問題と

花井博士談片

法學博士花井卓藏氏は十一日間京城覆審法院に於て……べき孫秉熙外四十六名に對する事件辯護の爲め下關に着き……氏は語る本事件は一旦公訴不受理の言渡ありたるが裁判官の間に衝突を惹起し其結果……

國庫債券賣出

國庫債券は八日より十二日迄各郵便局に於て募集開始されたる……

私鐵決算締切

仁取機關銀行

近く實現せん

南洋の產業狀態

大谷光瑞氏談

聯合會

穀物貿易商

仁川協會提案

來る十月十六日より十八日迄釜山に於て開催せらる可き朝鮮穀物貿易商聯合會第四大會に向け府下仁川より出席すべき代表者は穀物協會長力武嘉次郎、同副會長村上政高、馬場卯之助、評議員大平嘉重郎、同理事商議三及柏田忠藏の諸氏なるが同協會よりの提出議案及其理由書左の如し（仁川）

一、鐵道貨物の輸送に……方當局に要望の件

殖鐵開通期

輸移入稅補給廢止

滿鮮商議聯合會

注目すべき奉天商議提案

商工聯合會開催

在滿鮮人保護

釜山長春急行

活動寫眞委員會

支那共和記念日

一般の祝賀辭退

東京高師入學試驗

廣島高師生徒募集

總督午餐會

石塚總裁張宴

增築記念日

一面エキス

株式

商況

京株市場出來値

仁川期米特電

東京期米特電

大阪期米特電

京阪金利

銀帳尻

鮮銀券報

琿春事件の其後

豪雨を冒して行軍
歩騎相亞いで
諸民歡呼して迎へ 始めて安堵の色あり

八日午前十時二十分 軍司令部公報

間島に出動せる騎兵〇〇は七日午前二時又先發歩兵〇〇は午前六時其の主力は午前八時何れも夜來の豪雨を冒して難行軍を續け龍井村に入り七頭旺盛なり居住邦人は先日來晝夜警戒軍隊到着の準備に奔走し支那人等も亦日本軍隊に依り治安維持せらるべしとて歡呼し居れり〇〇隊及〇〇〇〇は七日午前九時四十分龍井村に到着せり 局子街にては七日夕刻日本軍隊の到着に依り日支人共に安堵の狀あり

依然各所に出沒す
邦人を屠り兵營より兵器彈藥を掠奪せんとする賊團の劃策

琿春を引上げたる馬賊の集團は四の警備嚴重なれば接近せず四日午前十二時馬賊不逞鮮人等豆滿江を日露春附近に出ずり日本軍隊及邦人を屠むりて支那苦力を買收し再渡り高麗嶺を包圍したるも激兵營より兵器彈藥を掠奪する目的に鮮人現はれ發電所附近を徘徊する春是れを擊退す 六日 會寧に不逞を以て極力警戒す十九師團より逃て盛に良民を襲ひて掠奪を縱まにし我軍の攻擊を警戒するも我軍六日夜龍井村に到着せり

安川大隊の勇戰
逆襲せる敵を擊退す

琿春派遣の安川大隊狀況左の如し(清津來電)
四日琿春に留まれる馬賊團は更に襲擊を加へむとせしも我軍の守備嚴重なりし爲目的を遂する能はず五日午前四時優勢なる馬賊團二道溝を包圍すとの急報に依り軍隊四十名急行內田少尉の一隊と共に之に退に努め五時四十分敵は遂に遁走せり我軍の負傷は第七十聯隊第一中隊二等卒三浦福松氏一人なり敵の死傷は多く屍體六を遺棄したり

琿春出兵承認さる
派兵は朝鮮部隊より

七日の閣議にて審議の結果一、琿春事件に對し約五百の兵を間島に增派し其旨東三省巡閱使及北京政府に交涉せりとの內田外相の報告を承認し二、暴徒の徹底的剿滅を期する爲支那側と協調の上必要と認むる兵力を朝鮮より派遣すること三、朝鮮內の兵力不足を補ふ爲西伯利より引揚げの軍隊を一時朝鮮に駐むること等を決定したり

琿春附近の賊勢
賊の主力 約一千以上
電信線を切斷せんとす
絕督軍陣頭に立たん
派遣隊通過
被害狀況 秩序未だ恢復せず
羅南市民大會 各要路に打電す
釜山の爆彈は 頗る精巧な物
形跡



……上野の秋を飾る……
〇〇〇〇〇〇〔帝展出品の彫刻〕〇〇〇〇〇〇

伊藤公の落し胤
故末松子爵の一粒種は
情誼に厚く詩藻豐なりし故人 某昵懇者の談

故末松青萍子爵には實子は無かつつたから凡て博士未亡人が學鷗氏たが養女として三歲の時より養育の意見を求め成り立つたのである(其後子爵學鷗氏は齋藤博士とは森槐南門下せられた女子があつた(其後子爵學鷗氏は齋藤博士とは森槐南門下の末弟なる春畝氏を別に養子とせの詩友でもあり、槐南氏は伊藤春畝公に始終隨行して居た人であるられたが)其女子は名は澤子、實は伊藤春畝公が今より二十三年前の折の落胤

五十七歲

である、末松子爵夫婦は子なきを幸右の女子を三歲の時より實子に異らざる寵愛を以て養育せられた、澤子は末松家に育てられたが春畝公を祖父、梅子夫人を祖母と

新家庭を 見て呉れと

海外 に於て手に入れた

二泊し九大病院に出入したる形跡は何者かあるも其後の樣子更に不明なれば或は僞名をなして下關を通過釜山に渡來せるものなるやも知れず若し僞名にて下關を通過したりとせば其時は既に爆彈を手に入れ居たるものとも看做し得べく該爆彈は頗る精巧を極めたるものなれば或は何者か海外に於て手に入れ居たるを受取の爲め長崎を經て福岡に來れるものなるやも知れず兎に角該爆彈は九州方面にて製造せしものに非ざるべしと想像せらると(釜山來電)

獨立資金募集と 表看板にした强盜團
各所に橫行中一網打盡さる

京城神社の秋祭
前景氣の素晴らしい 景氣直しに大浮をやらうこ

一名物 としようとする

例年に 吉例に依り 朝鮮産米獻納 八日は上納式

シベリヤに泣く女
支那人ながらもすつきりした男前に お園も憎からず思ふた

不逞鮮人 學校を機として 暗中飛躍す

綺麗處 睡眠時間は

列車中に一夜を明して 繪の如な東海道を靜岡まで
朝鮮女教員視察團第七信

歡迎を受け

多勢の男の末路

朝郵中淸丸の 鮮人船員暴行 其爲め出帆遲延

南鮮日報差押

朝鮮に四十萬の信徒あり 白髮白髯の牧師演說

歸鄉者が 多くなつた 原因は何か

調査

釜山

比較

第96호 1920. 10. 9.

小説 判官照手姫

九十二

旭亭桜山口演

道人と八郎睨合ひ

八郎の鋒先には流行の大猿も敵しかねて、キイ／＼と聲を揚げたと思ふと、他の猿どもそれ親方の一大事だといふ譯で、一齊に八郎に打込みますから心得たりと八郎少しも怯げず、斬し拂いて居りましたが、何を云つても猿は大勢、人間は一人だ、何分敵はなくなつて來ましたから八「ヤア道人、餘り助勢を願ひ度う存じます、道人如何の外へ出て來り、此有様を見て大口開いてカラ／＼と打笑ひ「道人、八郎、詰らない負惜みをするからさ、目に遭ふのだ、敵はんと思つたら木剣を投出して降参をして頭を下げろ、さうすれば猿も皆承知して其方を助けるであらう

ないから議を運ぶと、猿どもは進みれた物を捨てて、キイ／＼云ふ、又仕方がないそれを拾ふ、猿はホツホと笑つて居る赤い尻を出してピシヤ／＼叩く、白い齒をむき出して何か嘲笑つたりする、餘りの無禮に八郎カツと逆上せて此の猿、木剣だから可けない

道人に何と斬つても無駄だと思つたが、イヤ／＼さうでない、道人が勘忍と云ふ事を知れやうと思つたが、何でも忍ばなければいかんと思ひかへして我慢をする、斬く致しまする事一箇月に及んで、道人も敵月の頭目になりますと、

京染値下仕候
京染 あらき屋
京城本町三、電二〇六八

左なきに於ては畜生腹を立てゝ此上は何をするか知れないぞ」八郎残念だが仕方がない、木剣を投出して兩手をつき「恐れ入つた」と頭を下げた、すると澤山の猿も皆木剣を其れへ投出し、キイ／＼一固まりとなつて喜んで居る、道人其れへ參りまして、端から猿の頭を撫で道「能く八郎に敵へてやつた、感心々々」と賞めて褒める、猿は嚴く滿足さうに、ホツホといつて喜んで居る、翌朝になると猿は嚴く八郎を馬鹿にし、桶に水がないと桶を八郎に突き付け、水を汲んで來い……と素振で言付ける、八郎も仕方がないから水を汲んで歸つて來ると今度は鍬や薬缶を抜けと言付けるどうも八郎は食物が煮上がると膳立をして先生の所へ持つて行け今度からはお前が働くのだ、猿の代りに人間が働くのだ人間でも何でも寄寓地がないから働くのだといふやうな素振が見える、八郎いよ／＼口惜いが仕方がなし

八郎、忠政を近く招いて道「さて八郎、お前はなか／＼勘忍強い、感心を致した彼れだけ多くの猿が其方を馬鹿に致して嘲笑ふやうになるのを能く我慢も立てずにへイ／＼と從つて居る、今日からは猿どもに言付けてお前に用はさせまいから安心しなさい、徐々私が教へて進ぜやう」八「有難う存じます」道「此忍術と云ふものは人の油斷に付入る術で決して其の全身體を當に擬へて人の目を忍ぶのではない、だに依つては其忍術にかゝらぬやうにするのは、唯其身體に油斷のないやうになれば宜いのぢや、今日から先は油斷のない稽古をするのだから私とお前は唯今から主従でなく敵になるお前の身體に少しの油斷があつても私は飛び込んで行つてお前の身體を打つ、若し又私の身體に油斷があつたら、お前は遠慮なく私を打ちなさい、何方でも構は



日本料理　西洋料理　御料理 黄金
黄金町四丁目黄金館入口
牧野亭

演藝案内

大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町
電話八七三
當る十月八日より引續き大興行
實寫「北西弗利加風俗」長尺
喜劇「ゼーン飛行機」長尺
尾上松之助十八番劇
江戸俠客「夢の市郎兵衛」
寛永時代の大江戸で男の中の男一匹と謳はれ大俠客夢の浮世の市郎兵衛が生立ちより力士「石志賀之助の危難を救ひ單身桑名城乘込み仇討ち助勢をなしたる全五巻の痛快劇
米國メーロ會社特作
森林情話「男の一言」全五巻
メーロの明星ハロルドロツクウツト氏メイアリソン嬢共演
日活會社十大悲劇の一
後篇「生さぬ仲」全六巻
故柳川春葉先生の大作
前篇を上場し京城全市の人氣を集中したる本劇は吾日活會社東京一影部が白熱的技巧と一派俳優山本一派が獻身的努力とに依り愈々終局全部完成せり
入場料特に普通
毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

喜樂館
日本　本町壹丁目
電話九七番
當る十月　日より三大映畫提供
實寫　北海アイヌの熊狩
滑稽　向島派　釦の騷動　長尺
悲劇　女魔術師　全五巻
悲劇　新派　作映畫
妖術師か俠々か暗黒の魔の手に翻弄されたるヒロインが變幻出沒極りなき天馬空に行く行動は興味を惹かねば置かぬ怪奇米國メトロ會社特作
人情劇　紅一點　全五巻
男と女とは與ることが出來ぬ神が定めた使命であらうか思へば此世は苦の世界です、光明の扉を開くべく鍵はいつの日か得られうか
日活京都派一部新作封切　後田川楽切り
舊劇　阿部豐後守　全六巻
將軍の勘機を直諫するの城に返り咲き吉川御を一掃して十六萬石の武士の典型が中生の物語
○毎日晝夜二回開館
黄金町　電話二三六六七
黄金館
當る十月九日より特別大公開
大改良工藝御披露當地初の後援御寄贈品
祝賞品總額金壹千圓也
一等拾圓以上相當品。貳等五圓以上相當品。參等三圓以上相當品。其他のもれ無く景品進呈
四大寫眞上場
天然色映畫太郎新撮影
新派　常暗ヨリ光へ
時代　白熱的大好評の連續寫眞
第十六篇 第十七篇　名金
前週非常な好評の
社會劇 西洋 勞働者ガラオ
原作者 蘆山秋正
悲劇 白菊物語
花柳はるみ嬢、吾妻光子孃、山杉作氏出演
　の藝術？純映畫劇「哀の曲」

壽館
本町一丁目
電話七八五
○十月八日第二回公演
第一 寫實劇 名村春操作 悲劇
第二 一口噺 影刻家の鳥 上西勝英氏
　同上 喜劇 浴
第三 英國ロバートソン原作 名村春操ダンク二場
第四 名作 スペアンクル(ヴ)
第五 東京歌舞伎劇 名村春操一行 一場

朝鮮郵船

元山出帆　取扱店吉田運輸會社

行先	日	船名
大阪行	十月十三日	清津丸
下關行	十月十四日	京城丸
江原道行	十月十日	鏡城丸
敦賀行	十月十七日	立神丸
清津行	十月十二日	立神丸
雄基行	十月十五日	會寧丸
浦潮行	十月十七日	平安丸

釜山出帆　取扱店大池回漕部

行先	日	船名
大阪行	十月十五日	清津丸
大阪行	十月十五日	咸鏡丸
下關行	十月十七日	京畿丸
新義州行	十月十七日	義州丸
北鮮行	十月十三日	會寧丸
浦項行	十月十五日	平安丸
鬱陵島行	十月十一日	全海丸
江原道行	十月九日	濟州丸
濟州島行	十月十二日	昌平丸
木浦行	十月十一日	海州丸
新義州行	十月十二日	平壤丸

木浦出帆　取扱店野田回漕部

行先	日	船名
大阪行	十月十三日	咸鏡丸
釜山行	十月十日	昌原丸
濟州島行	十月十三日	慶興丸
多島行	十月十三日	公州丸
仁川行	十月十七日	全州丸
新義州行	十月八日	雄基丸
横濱行	十月廿三日	平壤丸

仁川出帆　取扱店郵船回漕部

行先	日	船名
大阪行	十月十一日	鏡城丸
木浦行	十月十一日	雄基丸
海州行	十月十一日	全州丸
鎮南浦行	十月十日	明天丸
長島行	十月十四日	徽慶丸
新義州行	十月十五日	江原丸

朝鮮郵船株式會社
京城支店
釜山支店
電話